

▼メンバーと会議中の藤繁さん



「自分たちで自由に企画して意見を出し合い、楽しみながら活動できるところですね」と話す藤繁さん。仕事や学校がある中、時間を見つけて会議を開いたり、

市内各地のお店を回ってスタンプを集め、魅力あるスポットを知って楽しめる「岩国ワクワク街道」知って得するスタンプラリー」が9月からスタートします。実施に向けて活動するのは、全員25歳以下の若者たち。その代表を務めているのが藤繁翼さんです。今年の4月、若者世代の行う市民活動について市が支援する新しい制度が

始まったことがきっかけで、平成生まれのメンバーで構成する団体「エンパワメント岩国」を設立しました。「若い世代の力で岩国を盛り上げていくには、どうしたらいいだろう」皆で企画を考えていくうち「市外や近くの県に遊びに行くことはあるけれど、市内にある魅力的なお店や場所は意外と知らない若者が多いのではないか」という意見から、楽しく気軽に参加できるスタンプラリーを実施することに。メンバーも少しずつ増え、現在は7人で活動しています。市民活動の魅力について

連絡を取り合いながら企画を進めてきました。初めての活動で、やってみて気づくことがたくさんあったといいます。協力してくれる店舗を探してあいさつに行った際は、実施期間や人手の関係で断られることも多くありました。その中でも「おもしろい企画だね」「ぜひ協力したい」と歓迎してもらえたときは、とてもうれしかったそうです。企画の開始に向けて、スタンプラリーの台紙の作成、SNSを活用した広報など、やることが盛りだくさんの藤繁さんに意気込みを尋ねると「この企画を通して、若者を中心とした多くの人に市内の魅力あるお店を楽しんでもらい、そのことで岩国がもっと盛り上がっていくよう全力で頑張っていきたいです。また自分たちの企画・活動が、若い世代の人たちが市民活動を始めるきっかけになればうれしいです」と、素敵な笑顔で話してくれました。

※市民活動…営利を目的としない自主的な社会貢献活動



▲店舗にスタンプラリーへの協力を依頼する藤繁さん（右）



▲勤務する支援センターのイベントで、キャップアートを制作



若者の力で岩国をもっと 盛り上げたい

Vol.77

藤繁 翼さん
(周東町在住)

平成生まれのメンバーで構成される市民団体「エンパワメント岩国」代表。市の支援事業「若者世代の市民活動応援事業」を活用し市内店舗のスタンプラリーを企画。いわくに市民活動支援センター勤務。

